

河東散歩～会津若松河東工業団地周辺のスポットを紹介します。

会津若松河東工業団地周辺のスポットを紹介します。

延命寺地蔵堂（会津若松市河東町倉橋字藤倉）



延命寺地蔵堂は、徳一大師によって建立されたと伝えられる国指定の重要文化財です。
この建物の屋根は唐様の重層建築で周囲に円柱で支えられた裳階がつけられ二階建てのように見えるため、「藤倉二階堂」と呼ばれ親しまれています。
屋根が2つ?!少し離れて見ると「藤倉二階堂」と呼ばれる由縁がわかりました。



八葉寺（会津若松市河東町広野冬木沢）

会津高野山とも呼ばれる由緒あるお寺で、中央にある阿弥陀堂は昭和25年に国指定重要文化財に指定されました。空也上人により康保元年（964）に建立されたと伝えられ、文禄年間に再建されました。



会津地方には、古くから通称「木製五輪塔」と呼ばれる小さな塔に、亡くなられた親族の遺品などを入れて奉納し供養する、という今では全国でここだけに残る風習があり、一万四千点を超える五輪塔は、境内の舍利殿に納められています。



夏を迎えた八葉寺では、毎年8月1日から7日迄の一週間「会津高野山参り」が行なわれます。お盆中に各家庭にお帰りになる精霊を会津の野辺である冬木沢までお迎えに行く、会津地方に伝わる大切な盆迎えのお参りです。
奥深い静けさや苔の息遣いも聞こえそうな感じの趣きあるお寺です。
撮影の時期はちょうど会津高野山参りの時期だったため、多くの人で混雑していました。

強清水（会津若松市河東町八田下ノ家）



会津の代表的な民謡「会津磐梯山」の中でも唄われている「会津の名水」としてよく知られております。旧二本松街道の重要な休み処として栄えました。今も昔の面影を残し、ここを通る人々のお休み処となっています。福島の名水30選にも選ばれています。
水量が豊富で、とても冷たいことが地元の人たちの自慢です。飲んでみると真夏の時期にもかかわらず、本当に冷たい。身体の隅々にまで浸透するような感じでした。

会津レクリエーション公園（会津若松市湊町地内）



広大な敷地が地域文化とふれあいのゾーンと汗と夢とのふれあいのゾーンに分かれており、「多目的スポーツイベント広場」「遺跡の広場」「野鳥の森」「花の広場」、猪苗代湖方面が展望できる「展望の丘」や会津地方の伝説『手長』『足長』をイメージした遊びの空間「こどもの広場・冒険の森」などで様々にお楽しみいただけます。

猪苗代湖（会津若松市・郡山市・猪苗代町）



会津若松市、郡山市、猪苗代町にまたがる日本で4番目に広い湖です。四季折々に移り変わる磐梯山の雄姿をくっきりと湖面に映し、別名「天鏡湖」と呼ばれています。日本でも有数の標高の高い湖（514m）で、磐梯朝日国立公園に属します。
今回は、会津若松市湊町からの撮影です。青い空と磐梯山、その姿を映す猪苗代湖のコントラストが素敵でした。